

山口ゆかり

二十六年越しの読書感想文―詩人・故長田弘氏へ捧ぐ

胸の奥に根を張ってしまったのに 改めて見つめず
言葉にせずに過ごしてきたしまった

中学一年生十二歳の時に 国語の教科書で

長田弘の「あるときかもしれない」を読んだ

あるときかもしれない

きつと初めて詩の呼びかけに出会ったのだ

親も知らない私だけの「遠く」へ行きたいと思い始めていた

十二歳の秘密の心を照らし出された

長田弘さん、私は一体あなたから

何を受け取ったのでしょうか

根を張ることを許しながら まだ言葉にできず

あるときから二十六年間 見つめることをせずついにしながら

ずっと声を聞いていた

長田弘さん、私はあなたに応えなければいけないと

やっと気づきました

あなたの言葉への感受性を

受け継ぐようにして読んでいきたい

心からそう思う 一人として